

教育委員会会議録（9月定例会）

日 時

令和4年9月22日（木）
午後1時30分から午後2時30分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久

委員以外の出席者

教育部長	松本 正生
理事	窪田 康德
総務課長	松本 賢吾
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	芳賀 友博
学務課課長	酒地 康彦
学校再編課長	渡邊 鏡子
生涯学習課長	信太 誠
スポーツ振興課長	玉置 伸一
指導課長	多田 賢一
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	赤津 光司
郷土博物館長	宮内 雅弘
北部学校給食共同調理場長	石川 渉
教育研究所長	横山 宏栄
子ども施設課長	中井川裕司
総務課副参事(兼)庶務係長	西 勇人
総務課副参事(兼)計画財務係長	高橋美奈子
総務課主幹	澤田 貴子
総務課主事	佐藤 友香

議 事

報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

その他

- (1) 令和 4 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 令和 5 年度日立市立幼稚園等の園児募集について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 9 月定例会を開会します。

本日、傍聴希望者はありません。

2 報 告

報 告 第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 9 号について、御意見等はありませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 そ の 他

(1) 令和 4 年第 3 回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、御意見や御質問はございますか。

委 員 今回も教育関係の質問が多いですが、特に、特別支援教育に関する質問が多いと思いました。その理由について、教育委員会で考えていることがあれば、教えていただきたいです。特別支援学校の整備計画が始まったことも関係しているのでしょうか。

また、特別支援教育を所管する課を設置してはどうかという提案もあったようですが、それに対する考え方を改めてお聞きしたいです。それに関連して、市教委の中で、特別支援教育担当の専門職員や教員がどれだけいるのか、特別支援教育において、どのような指導や対応が必要なのか、概略で結構ですので、お聞きしたいです。特別支援教育課を作ってしまうと、独立性が強くなってしまい、連携がうまくいかなくなることも考えられます。そのため、課を設置するのではなく、指導課や教育研究所など、市教委の中で対応していけば良いと考えています。県の教育委員会には、特別支援教育課がありますが、日立市としては、必要ないのではないかと考えています。

さらに、特別支援学校と、市内各学校や県立特別支援学校との人事交流がどの程度進んでいるのかをお聞きしたいです。議員さんの

中には、日立の特別支援学校は、特別支援教育の免許を持っていない先生が多いのではないかと心配されている方もいるようですが、日立市立の特別支援学校ということで、市内各学校との交流があるので、それがプラスに働いているような気がします。特別支援学校の経験者が市内の小・中学校に行き、その学校の特別支援教育に資するような体制になっているので、良いと思います。ただ、人事交流を活発に行っていく必要があると思いますので、その辺りの状況についてお聞きしたいです。

教育研究所長 特別支援教育に関する質問が多かった理由については、御指摘のとおり、特別支援学校の整備基本計画の策定を進めていることが理由の一つとして考えられます。

特別支援教育担当の専門職員については、本研究所では、特別支援教育全般、学校訪問担当相談員の学校派遣、適応指導教室ちやれんじくらぶ、こども発達相談センター、教育課題調査研究、教職員研修、学校訪問指導等の業務を、指導主事3名、係長1名が主に担当して、特別な支援が必要なお子さんへの相談対応を随時行っているところです。

日立特別支援学校と各学校との連携に係る取組といたしましては、教育研究所主催の特別支援教育研修会の実施が挙げられます。これは、日立市立各小・中・義務教育学校の特別支援学級担任、通級指導教室担当や特別支援教育コーディネーター、また、市立保育園、幼稚園、認定こども園の希望者を対象として、本年度、日立特別支援学校の特別支援教育コーディネーターに講師を依頼し、特別支援学級、通級指導教室に関する課題とその対応について、研修を行ったところです。併せて、夏季教職員研修会では、特別支援教育に係る研修を随時行っているところです。

最後に、日立特別支援学校が市の特別支援教育におけるセンターとしての役割を果たす主な取組については、小・中学校への巡回相談が挙げられます。日立特別支援学校の特別支援教育コーディネーターが、小・中学校の特別支援学級の授業を参観し、指導方法等について助言を行っております。

学務課長 特別支援学校と市内各学校との人事交流について、お答えします。

まず、県立の特別支援学校と市内各学校との人事交流についてですが、令和4年度は、一般交流と研修交流を合わせて、15名の先生が勤務されています。令和2年度が12名、令和3年度が13名ですので、毎年、15名前後の先生が、一般交流と研修交流で勤務しているということです。特に、日立特別支援学校については、県立特別支援学校からの研修交流ということで、本年度は10名、令和3年度は9名の先生が来てくださっております。また、日立特別

支援学校と市内各学校との交流によって、特別支援学校で勤務した後、異動先の学校で特別支援教育コーディネーターとして活躍していただけたということと、若い先生が特別支援教育の経験をして、学級担任になった際に、特別支援の視点も持ちながら指導を行っていただくことはとても大切だと思いますので、交流はプラスになると思います。

委員 ありがとうございます。特別支援教育については、主に教育研究所が担当し、細かい業務をされているということで、充実していると感じました。これからもよろしくお願いします。

また、人事交流が活発に行われているということで、それは、双方にとってプラスになると思います。ただ、できれば、一般交流で人事異動を行ってほしいと思っているのですが、県の特別支援学校との交流は研修交流で、一般交流はないのでしょうか。

学務課長 日立特別支援学校は、研修交流という形です。ただ、市内の小・中学校で勤務している先生の中には、以前、一般交流で県立学校から来られていた先生もいらっしゃいます。

委員 一般交流もあるということなのですね。

県には、特別支援教育課がありますが、垣根があるような気がします。小・中学校の先生方にも特別支援教育を積極的に学んでほしいと思いますが、日立市にはそれができる環境があるので、活発な交流をお願いしたいと思います。

委員 感想です。

組織を作っていくことと手厚さは別だと思っていて、最近、国連等から、日本の特別支援教育について通知が出るなど、考え直さなければならない時期になっていると感じます。専門的な課があるととても便利なようですが、インクルーシブ教育から遠のいてしまうのではないかと感じます。教育委員会にいらっしゃる先生方が特別支援教育について理解していて、誰に相談しても分かるようにカバーしていくことが本当の意味でのインクルーシブなのではないかと思っています。

再調理給食の提供については、前向きに検討していただけたということで、とても良いと思いました。日立市では、近隣の市町村に先駆けて、アレルギー対応の給食を提供するなど、給食に関しても個別の配慮をしてきたと思います。是非、特別支援学校の給食についても、よりきめ細やかな対応をお願いしたいと思います。

委員 特別支援学校について、県への移管を求めていくという回答がありました。その上で、整備計画の策定委員等に、県の担当者にも入

っていただくことで、給食再調理の整備面や人事など、移管しやすい流れができてくると良いのではないかと思います。

体育館へのエアコン整備について、1か所の体育館にどのくらいの整備費が掛かるのでしょうか。また、計画的な整備を行うということで、市北部と南部に整備されているようですが、次の整備について、どのように考えているのかをお聞きしたいです。

通学路での防犯について、人手不足に対して、防犯カメラ等の利用も有効であれば進めていただきたいです。ただ、今後、学校再編も進んでいくので、通学路の再検討や、スクールバスでの事故防止などについて総合的に検討いただければと思います。

風流物の文化継承について、文化少年団の中に、風流物を継承していくような分野を作るというのも良いのではないかと思います。以前にそのような活動があったかどうか教えていただければと思います。

学務課課長

日立特別支援学校の整備基本計画策定委員会についてですが、第一回の策定委員会を8月末に開催し、委員長には、学識経験者として、以前、教育研究所長や日立特別支援学校長を経験しておられる先生、現日立特別支援学校長、保護者代表としてPTA会長、医療関係者として、現在、特別支援学校の医療的ケアを指導しているドクター、コミュニティ代表として油縄子学区コミュニティ会長、関係団体として、日立市手をつなぐ親の会会長の6名に策定委員となっていていただいております。さらに、アドバイザーとして、茨城県教育委員会の財務課長、特別支援教育課長にも御出席いただいております。財務課は、学校施設の補助金等を担当しており、特別支援教育課は、県立の特別支援学校を始めとする特別支援教育全般を担当している課所です。計画を策定するに当たり、日立特別支援学校の施設は、県立の特別支援学校に比べて狭く、再調理室もないという現状ですので、新たな施設では、県立と同水準のものを整備していきたいという考えから、県担当課長のお二人にもアドバイザーとして参加いただいているところです。

学校施設課長

既設の体育館にエアコンを整備する費用につきましては、現在、設計の委託や見積りを出していく段階です。十王中学校の事例では、空調設備の設置工事費が3,200万円ほど掛かっております。ただ、体育館の改築工事と併せてエアコンを設置しており、エアコン設置に係る設計や電気設備関係も全体の工事に含まれておりますので、総額は把握しきれていないところがあります。参考事例といたしまして、今年度、茨城県の境町において、小学校5校と文化村体育館の計6施設にエアコンを設置する工事を発注しているのですが、契約額が3億1,000万円ということなので、面積や整備条件は異なると思いますが、単純に計算すると、1施設当たり

5, 300万円程度掛かるということになります。

また、計画的な整備ということで、整備に係る財源について考えていかなければならないと思っております。文部科学省に活用できる支援制度がございまして、その中で、小・中学校の体育館を指定避難所として位置付けているところの空調設備の整備に対して、地方財政措置、地方債というものがございまして、これから、計画的な整備に当たりましては、小・中学校の体育館の避難所としての必要性と避難所の開設回数等を見極めて、防災部門と協議しながら、どのように整備していくかを検討してまいりたいと考えております。

学務課課長

現在、通学路の見守り活動に協力いただいておりますボランティアの高齢化が進んでいることが課題となっております。防犯カメラの利用なども含めまして、今後、より安心・安全に子どもたちが通学できる環境を検討してまいりたいと考えております。

また、学校再編に伴う通学路の見直しについてですが、統合準備委員会の中に分科会を設けまして、通学路の安全対策や路線バスの活用の有無なども含めまして、その学校の実情に合わせた議論をして、再編を進める中で御意見を頂きながら、安全な通学路の整備に努めてまいりたいと考えております。

郷土博物館長

風流物に係る、文化少年団の中で風流物をテーマとした少年団があるかという御質問につきましては、これらを専門に行う少年団は現在のところございません。ただ、当館で事務局を持っておりますふるさと文化少年団は、現在、団員が31名ほどおりますが、年に1回、例年の恒例行事としまして、地元の保存会の皆様を講師として、風流物について学ぶ機会、触れる機会を設けております。そのほか、小学6年生、小学3年生が団体見学で博物館にいらっしゃるのですが、その際には、地域の文化ということで、風流物について説明する機会をなるべく積極的に設けているところでございます。

このほか、風流物が旧宮田村にエリアを持った神峰神社に奉納する行事であったということから、その地域内で保存伝承してきたという性質がございまして、その流れから、地元の宮田小学校、駒王中学校において、授業の一環、社会学習として、保存会の方々が学校に出向いて御指導しているというようなこともございます。

委員

それぞれありがとうございました。本当によく考えられていて、今後もそのように継続していただければと思います。文化少年団については、風流物の性質上、地域が特定されやすいとは思いますが、日立市全体として考えられるような流れも必要ではないかと思いました。

委員 日立市の特別支援学校では、給食の再調理を必要としている児童生徒は、実際どのくらいいらっしゃるのですか。

学務課課長 現在、日立特別支援学校には、再調理を必要とするお子さんが6名程度いらっしゃいます。実際に提供されている給食では、直接かんだり、そしゃくしたりすることが難しいということで、現在の状況としては、保護者の方が別の教室などで、ペースト状にしたり、とろみをつけたりするなどして、お子さんに給食を食べていただいている状況でございます。

委員 出された給食を保護者の方が別教室で潰したり、細かくしたりして、実際に児童生徒に食べさせるのも、保護者の方がやっているという理解で大丈夫でしょうか。

学務課課長 まさしく委員がおっしゃったように、保護者の方に、再調理と食べさせるところまでお願いしているところでございます。なお、仮に、第三者が実施するというようになりますと、まず、調理をする場所は、食品衛生法上の基準を満たすことが必要であること、更に調理をする方も検便等を行うなど、法令上の基準を満たす方でない、給食を提供することができません。ただ、保護者の場合は例外となっておりますので、現在、保護者の方に御協力いただいているという状況でございます。

委員 例えば、県に移管されて、県の特別支援学校になると、児童生徒に給食を食べさせるのは、普通の教員でも可能になるのでしょうか。

学務課課長 児童生徒に給食を食べさせること自体には、資格等は必要ありませんので、教職員が食べさせている状況でございます。ただ、調理については、教職員は行えないため、専門の調理員が再調理室で再調理を行って、その後、先生方が食べさせる補助を行うという形でございます。

委員 子どもの通学時の見守り活動について、お答えいただいたのですが、実際に今、防犯サポーターなどのボランティアがどこの学区でも減少しているように感じます。助川小学校区でも、以前と比べて、見守っていただいているボランティアの方の数が本当に減っているという現状があります。子どもの数は減っているのかもしれませんが、1人で帰ってくる子どもの姿を見掛けることが多くなってきているので、最近は、大きな事件がないような気はしますが、やはり心配です。防犯カメラなども設置する方向で考えていただいているということなので、是非、進めていただくようお願いいたします。

また、ボランティアで見守る方を何らかの形で確保しないとけないということなので、コミュニティとの連携をもっとしっかり密接にとって、働き掛けながら、是非、防犯サポーター、ボランティアの方の確保をお願いしたいと思っています。要望ということでよろしくをお願いします。

(2) 令和5年度日立市立幼稚園等の園児募集について

教 育 長 次に、その他(2)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 今年度も昨年度と同様に、5つの園での募集となります。4歳児が各園30人、はなやま認定こども園のみ、15人の募集となります。また、5歳児につきましては、来年5歳児に進級する在園者数に動きがある場合がございますので、若干名の募集としております。

日立市における幼稚園の現状でございますが、市立幼稚園、私立幼稚園ともに少子化の進行及び保護者の働き方の変化に伴いまして、利用者が急激に減少している状況でございます。一方、保育園の入園希望者は増えておりまして、保護者の就労などを理由とした保育ニーズの高まりが要因となっております。この傾向は、今後も続くものと考えております。

募集方法につきましては、例年同様に10月の中旬、今年度は、10月5日から、各園で入園願書を配布し、願書受付につきましては、11月1日及び2日に入園を希望する園に提出していただくこととしております。

月額保育料につきましては、令和元年10月から実施されている幼児教育、保育の無償化により無料です。

(3) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

生涯学習課長 百年塾フェスタ&子どもまつりについて御説明いたします。

開催日時でございますが、令和4年10月9日の日曜日、午前9時から午後3時まで、場所は市民運動公園でございます。コロナの影響もありまして、3年ぶりの開催となっております。

内容でございますが、百年塾フェスタと子どもまつりを合同で開催しまして、日頃の活動内容を発表する機会とするとともに、来場された方々にも楽しみながら生涯学習に触れていただく機会を提供するものでございます。

百年塾フェスタにつきましては、市民教授等の作品の展示や、生涯学習に関する体験コーナーを設け、来場者に生涯学習を始めていただくきっかけを提供いたします。また、高校生、大学生の活躍の場としまして、日立二高生によるお花のじゅうたんの制作のほか、茨城大学工学部の学生による大道芸なども予定されております。

次に、子どもまつりにつきましては、子ども会によるゲームや射的、輪投げなどが行われるほか、職業探検少年団では、農作物や市内特産品の販売、ものづくり体験などが行われる予定でございます。

最後に、日立市スポーツ協会のイベント「ぷら・スポ」が同時開催されますので、文化とスポーツの相互交流や相乗効果も期待されるところでございます。

生涯学習課長 第22回青少年のための科学の祭典、日立大会の開催について御説明いたします。

最初に、目的でございますが、科学を楽しむ機運を醸成し、科学に興味関心を持つ子どもたちの裾野を広げていこうとするもので、全国規模で開催されるイベントでございます。

茨城県内では平成12年以降、令和3年度を除きまして毎年開催されており、今年で22回目となります。今年度、茨城県内では、日立市のほか、ひたちなか市、古河市、鹿嶋市、北茨城市での開催が予定されております。なお、新型コロナウイルスの関係で、令和2年度はWeb動画配信で行われております。

開催日は10月23日日曜日、午前9時30分から午後3時30分まで、シビックセンターを会場に行います。

主な内容でございますが、電気、昆虫、化石、天文などのほか、SDGsカルタを含め、45種類のブースが設けられ、自ら実験を行ったり、ものを作ったり、参加体験しながら、科学の楽しさを知ってもらえる内容となっております。

また、実験の解説や工作の手順を掲載した実験解説集を先着1,000名に無料で配布いたします。

さらに、特別企画といたしまして、小学3年生から一般の方を対象に、南極講演会、「未知の極地に挑んだ探検家たち～北極・南極の歴史と現在～」を開催するほか、「科学研究作品展～未来の科学者大集合！～」と銘打ちまして、小・中学生の夏休みの自由研究作品のうち日立市内展で金賞、銀賞に入賞した作品の展示と、金賞受賞者のうち希望者によるミニプレゼンテーションを企画しております。

記念図書館長 日立市立記念図書館開館60周年記念文学講座について御説明いたします。

文学講座は令和元年度から開催し、第1回は長山靖生さん、第2

回は中村真里子さん、第3回はやまのことりさんをお迎えして開催し、今回で第4回に当たります。

初めに、目的ですが、開館60周年を記念し、読書週間の10月27日から11月9日に合わせ、日立市出身の児童文学作家を講師とする講演会を開催し、読書への関心を高め、図書館の利用促進を図るものです。

日時と場所は、令和4年10月30日の午後2時から3時30分まで、多賀図書館4階大ホールで開催いたします。

今回の講師は、日立市十王町出身、児童文学作家の佐々木ひとみさんです。テーマは、「ふるさとは、たからのまち～児童文学で未来に伝える～」としております。内容は、本との出会いから児童文学作家になるまで、作品に込めた思い、未来に伝えたいことなどです。紙芝居「大煙突とさくらのまち」の原画パネルも展示いたします。

定員は先着60人で、市報9月20日号に掲載し、9月28日から受付を開始いたします。

郷土博物館長

9月23日から11月6日まで、郷土博物館の2階、特別展示室で陶器の特別展示を開催いたします。

竹内彰さんは1956年、昭和31年に、日立製作所の大甕陶苑に赴任し、45年間にわたり創作活動を行い、数々の賞を受賞されております。

副題にある「伝統から造形へ」は、伝統的な工芸美を起点に、時に骨太に、シンプルで力強い造形から、自由かつ洗練された造形というような、日立で展開してきた創作の姿を表現しております。生涯にわたる作品など、約50点を展示しており、作風の変化も御覧いただけます。

また、展示作品には、竹内さんの奥様の御厚意によりお借りすることができたものが何点かございまして、フーテンの寅さんを演じた渥美清さんが器の形を作り、永六輔さんが、車寅次郎と文字を書いた湯のみ茶碗、放浪の画家と言われた山下清さんが絵付けした皿などを竹内さんが焼き上げた作品も展示いたします。

なお、観覧は無料で、期間中10月1日、10月22日、11月5日、いずれも土曜日の午後2時から1時間、学芸員による展示解説を行います。

委員

幼稚園や各学校のコロナ感染状況について、適宜情報を入れていただき、本当にありがとうございます。ただ、情報を見ますと、感染者が多いように感じて、心配しているところです。一般的には、感染者が少し減っているように見られていると思うのですが、2学期の幼稚園や各学校の様子がどうなのかを教えてくださいたいです。

また、運動会や体育祭など、学校行事が実施されていますし、これから修学旅行等を控えているところもあると思いますので、その辺りの情報についても教えていただければと思います。

学 務 課 長 最近のコロナ感染状況についてですが、先週9月12日から20日までの間で報告された陽性者は143名、そのうち児童生徒が131名、学校の先生が12名で、学校の先生も感染している状況です。平均すると、毎日15名程度の陽性者報告がある計算になっております。学級閉鎖を行ったのは5校8クラス、学年閉鎖は3校で9学年です。休校措置を取ったのは宮田小学校1校で、6年生の1クラスだったのですが、学校とも相談をしまして、感染の拡大を防ぐため、休校措置を取りました。2学期に入りましても、国の補助を使って、CO2モニターや消毒液など、各学校で必要なものを購入できるように市教委でも予算立てをし、それを基に対策を行っているというところでございます。

学校行事については、運動会、体育祭が1学期に終わった学校もあるのですが、2学期に入ってから、最近では、田尻小、滑川小の運動会が先週の土曜日に行われました。また、楡形小の運動会が来週の平日に3日間かけて、学年ブロックごとに開催予定でございませう。

修学旅行については、3分の1の小学校が1学期に実施したのですが、3分の2は、2学期の9月から11月に予定されております。第一陣が先週に出発しまして、昨日から出発して、今日帰ってくる学校が4校ほどあります。今週は、金沢小を含めた5校が修学旅行から帰ってきます。ただ、大沼小だけは、修学旅行を11月に延期した状況でございませう。

委 員 ありがとうございます。今年度は、対応策を考えながら、各学校でいろいろ工夫されていることがよく分かります。本当に良かったと思っていますので、学校や市教委の皆さんも大変でしょうけれど、是非、行事を実施できるように、支援等をよろしく願いしたいです。

4 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和4年10月27日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

5 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会 9 月定例会を終了いたします。

以 上